

地球惑星科学委員会 地球惑星科学国際連携分科会（第26期・第5回）

議事要旨

1 日 時 令和6年12月26日(木) 16:00～17:10

2 方 法 オンライン会議 (Zoom)

3 出 席

委員：小口高、倉本圭、三枝信子、佐竹健治、中村卓司、西弘嗣、堀利栄、矢野桂司、
藪田ひかる、伊藤香織、大谷栄治、掛川武、春日文子、齋藤文紀、塩川和夫、
鈴木康弘、土屋旬、村山泰啓、榎本浩之

欠席：沖大幹、張勁、藤本正樹

陪席：平譚享

4 議 題

- (1) 前回議事要旨の確認
- (2) 各分科会・小委員会からの報告
- (3) 加入国際学術団体の活動状況調査について
- (4) 令和7年度代表派遣会議の申請について
- (5) 公開シンポジウムの提案について
- (6) その他

5 配布資料

資料1 地球惑星科学国際連携分科会（第26期・第4回）議事要旨

資料2-1 IASC 小委員会報告

資料2-2 INQUA 小委員会報告

資料2-3 SCOSTEP-STPP 小委員会報告

資料2-4 IUGS 分科会報告

資料2-5 IUGG 分科会報告

資料3 加入国際学術団体の活動状況調査について

資料4 令和7年度代表派遣会議の申請について

資料5 公開シンポジウムの提案について

参考資料1 IPY 2032-33 改訂版概要(updated concept note)

6 議事内容

冒頭で中村委員長から平譚享氏(国立極地研究所 教授)の陪席が提案され、承認された。

(1) 前回議事要旨の確認

委員長より、前回議事要旨の確認があった。

(2) 各分科会・小委員会からの報告

中村委員長から、日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会の最終報告書に対する総会での対応に関して報告があった。続いて資料2-1～2-5に基づき、各委員会から活動状況が報告された。

IASC 小委員会（榎本）からは、2025 年 3 月開催予定の ASSW（Arctic Science Summit Week）や、2032～33 年予定の国際極年 IPY（International Polar Year）の準備状況が報告された。IMA 小委員会（土屋）からは小委員会の開催状況が報告された。INQUA 小委員会（齋藤）からは、日本から 5 名の委員が選出され、ASQUA の日本開催が検討中である旨の報告があった。人新世に関しては否決されたが、再度検討される可能性があるとの報告もあった。SCOSTEP-STPP 小委員会（塩川）からは、次期 5 ヶ年プログラムの策定状況、特にスケール間結合を次のテーマとすること、その他各種国際活動等について説明があった。IUGS 分科会（掛川）からは、Geohazard に関するシンポジウムを開催したなどの報告があった。IUGG 分科会（佐竹）からは、傘下の 8 つのアソシエーションから活動報告があったことが説明された（3 つは学術会議の小委員会として、5 つは各学会の活動として推進している）。ICA 小委員会（伊藤）からは、2025 年に開催される国際地図学会議等について説明があった。FE・WCRP 合同分科会（春日）からは、11 の小委員会を含む各 GRN（Global Research Network）の活動報告を行い、国際活動の情報を共有したことが説明された。WDS 小委員会（村山）からは、Action Plan 2025-2027 を策定中であること、日本からの WDS 関連国際会議への貢献等が報告された。IGU 分科会（鈴木）からは、ISC からのアンケートに対応した旨の報告があった。

(3) 加入国際学術団体の活動状況調査について

中村委員長より、資料3に沿って活動状況調査の今後の予定について説明があった。

(4) 令和7年度代表派遣会議の申請について

中村委員長より、資料4に沿って代表派遣会議申請のとりまとめと提出について説明があった。各分科会から学術会議事務局への提出は1月6日(月)厳守となっている。

(5) 公開シンポジウムの提案について

SCAR 小委員会の中村委員長と平澤委員から、資料5に沿って公開シンポジウム「地球温暖化は南極をどのように変えるか？— 日豪共同研究の新展開 —」（2025 年 7 月開催予定）の提案準備について説明があり、講演者のジェンダーバランス等について意見交換した。

(6) その他

榎本委員より、国際極年 IPY（international polar year）2032-33 に向けて本年 10 月に改訂されたコンセプトノートに沿って立案が進みつつある旨の報告があった。我が国として十分な対応を行うために今期は IASC 小委員会と SCAR 小委員会を合同開催し議論する方針であることが中村委員長から示された。

中村委員長より、地球惑星科学関係の国際活動に関する学術フォーラムの開催に関してまだ具体化していないが、2025 年 7～9 月開催を目途に、今後、委員長、副委員長、幹事などで相談し具体化していくとの提案があった。

佐竹委員より、2024 年 12 月 27 日 13:00～15:00 に開催予定の地球惑星科学委員会合同分科会への参加呼びかけがあった。

掛川委員より、Geoethics に関する AGU の声明の対応を JPGU として対応すべきか協議中とのと報告があった。日本学術会議も含めての声明発表の可能性に関して意見交換を行った。

以上